



ONCC NEWS

2019年度 共通講座「地域の集い」実施報告

9月18日(水)、ONCC受講生・同窓会・シルバーアドバイザー(SA)がAブロック(阪急京都線沿線)、Bブロック(同宝塚沿線)に分かれて集う、地域の集いが行われ、合計255名の参加者で交流を深めました。

Aブロックの集い: 13:30~16:20 摂津市立コミュニティプラザにて

鮎川ヒロアキ氏(心理カウンセラー、お笑い芸人)による、即興劇では氏の質問に対し、参加者が1人出て、ペーパーを取出し、読んで(アドリブ)応答する、拍手喝采でした。

次は全員が大きな輪になり、音楽に合わせて(歌)体操、いい運動になりました。ラダーゲッター、スプラッシュボール、カーリンコンの3種目のゲームを行い、一喜一憂、童心に帰りました。

最後に、いろいろなジャンケンゲームで楽しみ、閉会しました。

参加者より、「楽しかった」「よかった」の声が多数寄せられました。

今年ご都合で参加できなかった方も来年は是非ご参加ください。[文： 教務部 藤本 哲]



鮎川ヒロアキ氏



Bブロックの集い: 13:00~16:00 豊中市立ローズ文化ホールにて

福井栄一氏(上方文化評論家)による「上方おもしろ草花ばなし」の「四季の語源」「春の七草、秋の七草」のお話を聞き、続いてアンサンブル・サビーナによる管弦楽の生演奏と松本城洲夫先生の歌声に聞き入り、ビンゴゲームでは当たりが早く出てあっという間に終わってしまいました。

おしゃべりタイムでは12チームのテーブルに受講生、同窓会、SAが地域別に座り、自己紹介にはじまり、地域での活動状況、今後の活動等のお話で盛り上がったようです。

最後の歌体操は全員が輪になって手をつなぎ、肩を組み、楽しいひと時を過ごしました。[文： 教務部 木崎純子]



福井栄一氏



一学期を振り返って！／二学期を迎えて！

地域福祉を学ぶ科 7期生 豊中教室

私はシルバーアドバイザーに興味があり、友人の勧めで受講しました。



前期は『介護保険・介護予防・成年後見制度など』『ひきこもり問題』『サードプレイス』等の興味深い講義が続きました。車椅子・視覚障がい者のサポート体験では要支援者と援助者の体験が出来て良かったです。

講義・実技で学んだことは、今後に役立つと感じました。クラスのメンバーは経験豊かで前向きな方が多く色々と学ぶことが多いです。

只今ふれあい交流祭に向けて試行錯誤しながら班ごとの課題に取り組んでいます。

後期も仲間と共に楽しみながら学んでいきたいと思えます。CA高山さん宜しくお願いします。【文： 笠井玲子】



7期の受講生の皆さんは、なにごとにもやる事が素早く感心しています。社会見学も決まれば下見に行かれたり、夏休み中も成果発表に向けて班で見学に行かれるなど皆さんパワフルです。人数は少ないのですが、私は精鋭14人と思っています。

後期も皆さんのお役に立てるように頑張ります。楽しく学習、楽しくお付き合いができますよう、よろしくお祈りします。【文： CA 高山アケミ】



プロから学ぶ身近な知識 7期生 豊中教室



ONCC7期生として、「プロから学ぶ身近な知識科」に参加して4ヶ月が過ぎました。

4月の1回目の講義「法概論(法律は何か)」は、法律の基本等を分かり易く説明して頂き、今後の様々な学習テーマが楽しみになる時間でした。又、同日午後の1回目のクラスミーティングもコミュニケーション良く役割の決定等スムーズに行き良かった、と思いました。

その後、相続、遺言や老後の不安の解消(生命保険、税金、遺言書等)、悪徳商法等の消費者被害に会わない為、等のテーマの講義を受け良い時間を過ご

せた事は感謝です。二学期、期待です。【文： 山本博文】



わがクラスは受講生30名とCA1名(しかも新米)。不慣れなCAに加え、教室は徒歩15分(しかも坂道)の雨漏りする年季の入った会館です。受講生の皆さんには色々ご負担をかけながら、ようやく一学期を乗り切りました。

午前の授業 ほぼ座学なので、午後の活動はなるべくリラックスしてもらいたいと、二学期は体を動かしたり、外出する機会を増やしてみました。さらにクラスの親睦を深め、金曜日を楽しんでいただけたら幸いです。

【文： CA 岸本佳奈子】



健康・スポーツと食生活科 7期生 摂津教室



新しいメンバーとの出会いで戸惑いもありましたが、この頃 毎週月曜日が早くこないか待っている私があることに気がきました。

体力測定からはじまったストレッチや体操等に、「ここまで出来た」という過去のイメージを打ち破られ、現状を認識させられました。初めて経験したグランドゴルフやカーリンコンゲームは将来新たに運動のヒントの一つになりました。

又、班活動として「学食」というテーマで6校訪問し、学生の食生活の一端を垣間見ることが出来たのもよき思い出となるでしょう。

いよいよ二学期 食生活と日常生活のポイントを学び、運動と共に今回の私の目的である80代に健康寿命をより長く続けるヒントを得て実行計画をたてたいと思えます。【文： 小川正光】



一学期が始まった当初、午前のカリキュラムと午後が入れ変るといふハプニングがあり、受講生のみなさまにはご迷惑をお掛けしましたが、戸惑いながらもご理解、素直に受け入れて頂いたことに感謝でした。各班とも時間の有効活用を工夫して活動、講義日以外の校外学習も計画されたことに感服しました。



教室では健康寿命を延ばすための色々なストレッチの実践や、生活習慣病を予防する食事のとり方なども一緒に学ぶことが出来ました。

二学期は各班テーマの発表を楽しみに、さらに受講生と校外活動など協議、相談しながら計画・実践して、素晴らしい学びの教室であったと全員で体感できるようにしたいと思っています。【文： CA 黒木武紀】

ぶらり北摂 7期生 豊中教室



江戸時代の名所や自然を学びながら、知っているようで知らない近場を探访できる「ぶらり探訪」を受講しました。

第1回目の「太田茶臼山古墳・今城塚古墳」は何度か訪れていますが、その都度ガイドさんの名調子で楽しく探訪できました。6回目の「多田銀山」探訪で、今期終了。

夏休みに入って、班別にテーマを決め、ふれあい交流祭用の準備に入っています。

夫々が企画運営しながら、楽しい班別活動をしています。【文： 鶴 敏子】



各先生方の分かり易く楽しい講義を予備知識とし、胸をふくらませ テクテクと探訪に出かけています。

北摂の名所、旧跡の探訪を重ね、歴史へのロマンを夢にクラス一体となり取組みを進めてきました。

当時の様子に思いめぐらせ、現代の様子とも対比し、勉強してきました。「ぶらり北摂」のクラスの思いが十分に届けられる場になればと思います。

【文： CA 中野保子】



美とアートを巡る科 7期生 茨木教室



一学期は、大阪市立大学特任教授の小村みち先生に、主として西洋美術の古典古代からポスト印象派までの歴史を、その時々思想背景を含めて学びました。テンポの良い語り口で、西洋美術の神髄を語っていただきました。

こういった座学の合間に、「フェルメール展」「国宝一遍聖絵展」「フランス近代名画展」「印象派からその先へ展」ならびに親睦を兼ねた「国立民族博物館の見学と会食」「各班ごとの独自見学会」を行っています。

事前に教室で教えていただいた作者や絵画には、ただ漫然と鑑賞をする以上により深い鑑賞と親しみを持った印象を受けました。

二学期は主として、日本の美術を中心に学んでいきます。楽しみにしています。【文： 野崎勝彦】



今までは歴史関係の講座を担当してきたのですが、初めて美術関係を担当する事になり、出来るかしら?!と心配ばかりです...

美術館はこれまでもよく鑑賞に行きましたので、美術館巡りは慣れているのですが、始めてみれば不慣れなことも多く、受講生の方に支えられることがいろいろありました。パソコン、プロジェクターの使い方はさっぱりダメです。

小村みち先生の全身を使っの講義に圧倒されました。受講生の皆様も熱心に引き込まれるように講義を受けています。美術館巡りは大阪市立美術館・フェルメール展に始まり京都博物館、山王美術館、兵庫県立美術館と巡りました。

これからも5館ほど探訪がありますが、夫々が違うテーマで、おおいに楽しみにしています。【文： CA 山上田起子】



水彩と油彩を学ぶ科 7期生 吹田教室



2年間クラスの始まりの日、高齢になってから絵を描くことが好きな人とはどんな人達の集まりかなと興味を惹かれ、オリエンテーションでの各々の自己紹介を一言も逃さないよう聞きました。

いろんな学科毎の受講生の集まりがありますが、3期生時の歴史文学の教室の雰囲気とは少し違います。

絵は、目に見えることや頭に浮かんだ色と形を紙の上に描いて自分で楽しみ、人に見せて描き手の思いを感じてもらえれば嬉しいものなのです。「こうし

なければならぬ」決まりごとはないのです。どんなテーマを描こうと、どのように描こうと自由なんです。その為か皆さんおおらかです。

教室では午後の作画中、あちらこちらと見て歩いていても誰も気に留めません。そんな中でいつも全員の席に来て筆で加筆や削除していただく土方先生だけは一秒の休みもありません。【文： 福坂文敏】



初めてCAをさせていただき、一学期が過ぎました。皆さん本当に絵が好きなお方たちばかりで、キラキラ輝く92の瞳がとても眩しいです。

先生のウイットに富んだ講義やデモンストレーションも毎回楽しみです。

芸術の秋に向けて沢山の作品が生まれるのを心密かに期待しています。

【文： CA 隅田純子】



歌って楽しむ音楽科 7期生 池田教室

音楽を聴き、歌うのは楽しい。大声で、心を込めて歌う。どんな曲想であっても歌の中では自分が主人公になる。悲しい曲も楽しい曲も、美しいメロディに乗せて…。

それで今年も『歌って楽しむ音楽科』を選択しました。加えて、健康な肉体を造る為にボイストレーニングも始めました。腹式呼吸をマスターしてカンツォーネの歌手になったつもりで歌いたい！これが僕の今の希望です。

でも、一学期を振り返ると、余りに歌う機会が少なかった気がします。ボイストレーニングは歌を上手に歌うために心掛けることですから、皆さんもっと歌いましょう。

二学期はふれあい交流祭に「合唱」で参加するのですから、その練習で歌える機会が沢山増えるでしょうね。今から楽しみです。【文： 狭 雅則】



7期「歌って楽しむ音楽科」は、これまで同様に松本城洲夫先生の講義「音楽史」と、今期新たにボイストレーニングが加わり、交互に実施されています。

講義では毎回貴重な映像・音源に加え、アンサンブル・サビーナの生演奏を楽しみ、ボイストレーニングでは本格的な声楽の指導を受けています。一番驚いた事は、短時間でも良いので講義の日もボイストレーニングを希望する受講生が多く、松本先生のご好意により実現したことです。このように毎週ボイストレーニングに励んでいますので、健康面も併せて1年間の成果が楽しみです。【文： CA 吉田優子】



敗者から見た古代史 7期生 豊中教室



一学期は、第1回「邪馬台国と卑弥呼」から始まり、第14回「天智天皇の計略に落ちた有馬皇子」で終了しました。アツという間でした。

中でも、5月の服部緑地でのBBQ、6月のかごの屋での懇親会、そして一学期最後の7月29日午後には2班メンバー全員で豊中駅近くのイルパラドッソでお茶会をしたことなど、学びと共に親睦を深めることが出来、楽しい一時を過ごす事が出来ました。又、2班内では1名の方が復学されたのも朗報でした。

古代史を敗者の立場から読み解いて、古代史像を新しく再構成することによって、時代背景となる古代社会のありさまがより深く理解出来、ますます興味がわきます。

これからの講義が待ち遠しいです。【文： 松井英次】

今年初めてCAをやりました、自信は無いがこれも経験と軽い気持ちで引き受けました。それなりに充実したクラス運営を目指しましたが、講座が始まるとポカだらけ、書類の不備、遅れ、今日のひと言にはクレームを頂戴し、受講生の皆様にご迷惑を掛け、やはり私には無理だと思い知りました。

一学期はCA主導で運営しました、有り難かったのは豊中市の出前講座でした。二学期は受講生の皆様主導で楽しく運営したいと思います。

【文： CA 小山哲夫】



武士の起こりから応仁の乱へ(中世史) 7期生 高槻教室



今年は、受講者25名でこじんまりとした教室で、楽しく勉強しています。

高槻教室は、2年制が2回続き、特に前は(古代史)を2年行ったため、長年継続して勉強している人が多いです。前期は武士の起こり、治承、寿永の乱から始まり、平清盛の六波羅探題等 平安末期が主体で受講しています。

校外学習では今年3月に開業した「姉小路京都西駅」を利用して、「梅小路公園」に行ってきた。皆さん初めてで、朱雀の庭・いのちの森を見て満足した様子でした。見学会では2週間後に六波羅探題の講座があるので、直接関係はないが、六波羅蜜寺、六道珍皇寺を見学し、初夏の京都をぶらつきました。少人数でまと

まりのある教室なので、これからも楽しみたいと思います。【文： 杉田 克】

経験豊富なリピーターがかなりおられるクラスであります。当初は緊張していた私でしたが、活発なこのクラスに引き込まれるように馴染んできました。

クラスミーティングも、サッと班に分かれ、話し合いを重ねていき、その段取りの良さには驚かされます。

このような和やかな雰囲気を持続しつつ、惰性に流されないように二学期を楽しみたいです。【文： CA 赤座芳枝】



戦国争乱から大政奉還へ(近世史) 7期生 茨木教室



台風一過の6月28日(金)、校外学習の一環として服部緑地公園でバーベキュー懇親会を実施しました。心配していた雨もなく、これも日頃の精進の成果だと参加者皆さんの一致した声でした。

9時45分に現地集合ということで、時間通り無事全員集まりました。この場所は食材から、アルコール類まで全て業者が用意してくれるということで、気軽に参加できます。一部の方からは、アルコール、自家製野菜など気の利いた差し入れがあり、感謝感激です。

食材が焼き上がるのを待ちきれず、早速乾杯の声とともにビールを飲み始めました。

各テーブルでは食材を焼く人、食べることに専念する人さまざまですが、アルコールが進むにつれて歴史の話から時事問題まで話題は尽きることなく、話が盛り上がっていました。

準備された食材もほとんど食べつくし、楽しい時間もあっという間に過ぎて、12時30分記念写真を撮ってお開きとなりました。【文： 栗谷祐次】

我々のクラスのメンバーは、昨年の「中世史」を終了した受講生が過半を占め、日本の歴史の流れを理解しようと今年は、江戸時代の誕生から崩壊までを学んでいます。

講師の中村武生先生は、江戸幕末を研究されており、新聞に出た最新の情報を随時提供、アップデートで解説して頂いておりますが、これが非常に興味深く、受講生に大好評です。

9月には、先生がテレビに出演し、解説された池田屋事件や近藤勇のビデオを午後のルーム講座で鑑賞しました。

これから幕末の授業に入っていきますが、どんなエピソードが紹介されるか楽しみです。【文： CA 久慈良政】



美術(水彩)科 6期(2年目) 高槻教室



水彩画は初めての経験で、昨年は講義-実技と何とか皆について行くのに必死の日々でした。元号が令和へと変わった今年も、一学期から様々な技法を学びました。午後の実技では、長期経験者も初心者も、各々が試行錯誤しながら取り組みました。4月より新たに15分デッサンも始まりましたが、皆真剣な眼差しで描き続けていました。9月の初めには、鉛筆の響きが、以前より滑らかになっていたように感じました。

ONCC水彩画教室は後半年で卒業となりました。受講生の皆さんは、夫々がこれまでの授業で何かを会得されたと思います。私も土方先生の指導の下、テクニックを一つでも多く身につけて来年の卒業作品に活かしたいです。教室での仲間との日々の会話や絵の実技・意見交換は楽しく、毎週通う励みになります。これからも更なる高みを目指し学び続けていきたいです。【文：塩崎雅彬】

平成から令和になった春にONCC高槻水彩画教室では 土方先生の授業の一環として、講義の始まる前の15分を使い人物デッサンを始めました。

まず、形をとらえて鉛筆で描いていきます。15分後 受講生が他の方の作品を見る時間を設けていただき、土方先生のアドバイスを受けます。

皆さん 始めは慎重に描かれていましたが進むに連れて、描く線が生き生きしてきました。何事にも言えますが、継続が大事、練習は「嘘」をつかない。

二学期になり受講生の皆さん 身につく学期になってきたと思います。あと卒業までの半年、今まで授業で習った事、様々な技法を活かして来年の発表会に向けて励んでください。【文：CA 村主正夫】



OMOTENASHI科 6期(2年目) YMCA 土佐堀校教室



今さらながらの“日本新発見”

某テレビ局の番組ではないが、この1年半の思いは正にこの“新発見”の連続でした。

今の様に情報が多すぎる世の中、本当に興味を覚える事以外、単に聞き流し、横目で見てきた様に思うのですが、知っている様で本当は何も知っていなかった事がいかに多くあったんだと目からうろこ！！ 本当に思い知らされた一年半でした。

日本に多く残されている行事、慣わし、風習など、深く知れば知るほど、おもしろく、「今までなんと、もったいない見方、感じ方であったなぁ！」とつくづく反省。

先ずは大阪の事、長い間暮らしてきたのにどれだけ知っているのかなぁ？ 時間を掛けて見ようと思っている今日この頃です。【文：山田亜子】

今年も、祇園祭・天神祭・泉南市の紀泉わいわい村での昔生活体験等、教室での講義、実地に体験する講義と楽しんでおります。祇園祭では実際に鉾の組み立てからの説明も受けました。

「OMOTENASHI科」は常識の範囲を破った別の観点からの見方も気付かせてくれます。

残り半年、多くの貴重な経験が出来る事を期待すると共に、3月には総纏めの台湾への研修旅行もあるので、体験+みんなと素敵な思い出が出来る事を願っています。【文：CA 北原光子】



再発見！ なんでも見てやろう 特別短期講座 A 現地集合



～なんでも見てやろう～は約100人の大所帯です。

9月は6回目で豊中市立文化芸術センターでの日本センチュリー交響楽団によるベートーベンの「運命」他の演奏会鑑賞です。

演奏前に約一時間最終リハーサルを見学、そのあとバックヤードと舞台見学で、指揮台にも上り未体験の楽しい一日でした。

「再発見！」はこのように余り日ごろ見る事ができない、なかなか行けないような所へ見学・鑑賞をこれからの行く先々で経験できるよう考えています。【文：CA 廣瀬雅人】

9月から二学期を迎え、トップバスターは島田茂生先生です。「世界恐慌と昭和恐慌」が学習テーマです。詳細なデータとグラフが入ったレジュメで楽しい講義でした。

「近代史」は今日の日韓、日中、日ソ等今日までの大きな外交問題を探求した講義であり、これからも、満州事変や盧溝橋事件・日中戦争とますます目が離せない核心講義に向かっていくと思います。【文： CA 廣瀬雅人】



「ONCC 地域活動推進部」活動報告

地域活動推進部は卒業生を中心に、互いの交流、地域活動を目的として、「げんき塾」、「ふれあい歩こう会」、「地域活動会」があります。



げんき塾

ふれあいサロン「げんき塾」は、話し相手がいない、近所付き合いが少ないといった高齢者が、サロンで近所の人と話し、「いざという時は、お互いに助け合える関係」となる事を願って、毎月第1金曜日に刀根山螢池会館にて実施しております。

気軽に集って頂けるように、来場者にコーヒーや紅茶の接待、とよの農園で作られた野菜などを安価で販売し、歌体操などのイベントを行っております。

10月・11月には高齢者の健康維持を考えて、「口のフレイル講座」を実施します。

地元の福祉委員、自治会役員の方々から、高齢者の親睦が深まったというお褒めの言葉を頂きました。

ふれあい歩こう会

「ふれあい歩こう会」は、視覚障がい者の方、車いす使用の方と一緒に、奇数月第1日曜日に実施し、街・里山を歩き、歴史散策、花見などを楽しんでいます。

9月1日は防災の日という事で、阿倍野の防災センターの見学を開催しました。

各展示場では防災に関する体験や震度7の地震があった時の体感を感じてもらいました。特に、昨年の大阪北部地震の時の実際の体験話を参加されている視覚障がい者の方から貴重な話を聞かせてもらいました。

次回11月3日(日)は、池田五月山公園の散策を実施します。



地域活動会

「地域活動会」は、茨木・豊中地域で行われるイベントフェスタに参加しています。

茨木市ローズWAMでは、夏休みを利用して行われるキッズサマーキャンパスに毎年参加しております。アルマニカー、ロボコップかえる、まとい等に人気があり、作り終えた時の微笑みが私たちの気持ちを和ませてくれます。

豊中くらし館祭りが10月に実施され、今年は初めての参加ですが、子どもたちに作って喜んでもらえるような手作りおもちゃ作りを企画して現在準備を進めているところです。

「第6回 ONCC ふれあい交流祭」ご案内

【日時】 11月27日(水) 11:00～15:30

【場所】 豊中市立文化芸術センター

アクア文化ホール(開会式)

展示室

各学科やクラブ・その他の活動内容を見学

小ホール

パフォーマンスを観て、参加

カフェコーナー

歓談しながらホッと一息しませんか!?



皆様のご来場をお待ちしております!

ONCC 設立7周年記念

『講演と音楽の集い』

☆ 日時: 2019年12月 4日(水) 開場 12時30分・開演 13時 / 終演 16時

☆ 会場: 豊中市文化芸術センター(アクア文化ホール)

阪急宝塚線『曾根駅』東へ300m

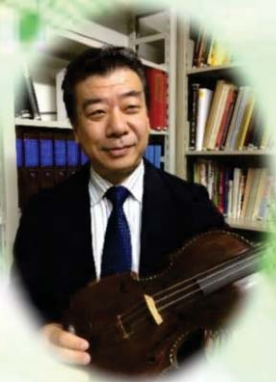
☆ 協賛金: 1,200 円 (チケット購入は、ONCC事務所へお電話(06-6151-4461)でお申込み下さい)

○ 第一部 講演: テーマ『音楽はアジアを救う』

講師: 松田 淳一氏 NPO法人 アジア音楽教育者育成プロジェクト副理事長

内容: 東南アジア諸国には当たり前のようにスラム街とストリートチルドレンが存在します。

そのような子供たちに音楽を通じて情操教育を行い、立派な社会人に育てる活動をされており、様々な人間ドラマを伝えていただきます。



○ 第二部 音楽: テーマ『ヴァイオリンの妙技とピアノ四重奏』

演奏: 大阪音楽大学の講師、卒業生のプロ演奏家による

演奏曲: “妙技”にふさわしい

- ❖ To Love Again (ノクターン) / F.ショパン
- ❖ 短くも美しく燃え: ピアノ協奏曲21番 / W.A.モーツァルト
- ❖ アルゼンチンタンゴの世界 ラクンパルシータ 他



ヴァイオリン
松田淳一



ピアノ
松田淳子



チェロ
藤原克匡



ヴァイオリン/ビオラ
柳浦香澄

『皆さま! お誘い合わせの上、ご来場』をお待ちしています!

編集後記

年齢を経るごとに、暑さ、寒さがことのほか応えるようになってきたので、快適な気候は一年のうちほんの少しになりました。快適な秋は台風シーズンでもありますので、残念ながらアツという間に終わってしまいます。

食欲の秋、行楽の秋、読書の秋 いろいろありますが、ONCCの秋の最大のイベントは「ふれあい交流祭」です。参加された受講生の感想は楽しかった!という方がほとんどです。これまで不参加の方も是非、ご参加いただき秋の一日をお楽しみください。(山)

